

すて〜じ通信



発行 平成 28 年 2 月 第 15 号

〒052-0014

北海道伊達市舟岡町334番地9 あい・ぷらざ1F

社会福祉法人北海道社会福祉事業団

胆振日高障がい者就業・生活支援センター すて〜じ

Tel / 0142-82-3930 fax / 0142-82-3933

E-mail / stage@dofukuji.or.jp



貴重な1日をどう使うか

胆振日高就業・生活支援センターすて〜じ

センター長 鹿野内 賢士

2016 年も 1ヶ月が過ぎましたが、改めまして「あけましておめでとうございます」本年も昨年同様、よろしくお願い致します。

さて今年は申年です。申と去るをかけ、今年は 1 年が足早に過ぎると思いがちですが、北海道新聞に年男・年女に一年の抱負や決意を紹介する記事欄があり、その中で「申」という意味には「草木が十分に伸び、実が成熟して香りと味がそなわり、固く殻に覆われていくことを意味する」との記載がありました。それぞれの抱える課題や取組に対し、腰を据えてしっかり取り組むことで**完成の年**となるのでは…と。希望の持てる意味に都合よく解釈をしながらも、今年**はうるう年**のため1日多い事を考えると、**貴重な1日**をどう活かして行こうか、少し心にゆとりが出来たように思うものの、忙しさを感じるような気持ちにも…。

新年 1 月 1 日の新聞の番組欄に、HTBの早朝番組「羽鳥慎一のお騒がせ新年会」の、紹介欄に記載されていた内容の左端を立て読みすると、「新たな1年が幸せで健やかな年になりますように」となっていました。気づいた方はおられたでしょうか。私はもちろん気づかず、その後のネット情報で知りました。粋なはからいに感動しつつ、遊び心のある校正は時々あるようで、番組欄を見るのも少し楽しみに思えてきました。このようなさりげない「**遊びこころ**」は、私たちの日々の業務においても、必要な「余裕」であり「**心のゆとり**」であると感じます。さて今年はどうなるのでしょうか…。

先日、ある機関誌に個別就労支援のモデルとして「IPS」という考えが、多くの国で研究され、日本でもデイケア・就労継続移行事業所・就業生活支援センター等でその取組を開始し、有効性が実証されているとの記事がありました。「IPS」(Individual Placement and Support) とは「**働きたいと希望する人**」に対し、どんな重い障がいをもっているても、一般就労は**可能であるという強い信念**をもって望んでいくという考え方です。「保護的な場で訓練する(traint-then-place)」というやり方よりも、「**早く現場に出て仕事に慣れる(place-then-train)**」やり方を大切にし、本人重視の仕事探しを進めていくというものです。

私たちの日々の就労支援への姿勢や取組については、大きな考え方の相違はないと感じますが、支援者が障がいをもった方々の熱い思いに対し、「**壁(バリアー)**」になってはいけないという、支援の再確認として「IPS」の取組も大いに検証していきたいと考えます。

可能性と個々の特性をどう活かしていくか、結果だけでは無くプロセスの重要性を意識し、本人主役の支援を進めていくと共に、今後とも情報の共有を図り、地域資源を活用した支援体制の構築に向けて努力して参ります。





会議報告 [第2回胆振日高地区障がい者雇用支援地域合同会議]

◆西胆振地区会議（平成27年11月18日） 室蘭市中小企業センター2階

- 1.西胆振管内における就労状況について～室蘭ハローワーク:杉村指導官より報告
*今年度ハローワークの取組みとしてトータルパートナー(精神保健福祉士)を配置し、月1回カウンセリング中心の面談を実施している。
- 2.差別解消法・合理的配慮について～胆振圏域障がい者相談センターるぴなす:國松コーディネーターより報告
*北海道障がい者条例により、地域の暮らしにくさや紛争解決にも取り組んできたため、これまで同様に取組みたい。
- 3.すて～じの支援体制・情報提供について～ *ダイレクトBの取組み状況 *支援状況報告 *情報提供

◆東胆振地区会議（平成27年11月26日） 苫小牧市民活動センター2階

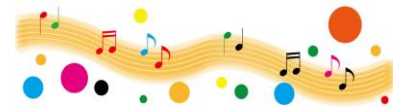
- 1.東胆振管内における就労状況について～苫小牧ハローワーク:加藤指導官より報告
*今年度は景気の回復とともに雇用率も増えているが、障がい者雇用は増えていない。関係機関との連携した取組みが必要である。
- 2.差別解消法・合理的配慮について～胆振圏域障がい者相談センターるぴなす:岩森コーディネーターより報告
*差別解消法の施行に伴い国が指針を作ることになっている。北海道障がい者条例も従来通り地域作り委員会で継続される。
- 3.すて～じの支援体制・情報提供について～ *ダイレクトBの取組み状況 *支援状況報告 *情報提供

◆日高地区会議（平成27年11月27日） 新冠町レコード館 研修室

- 1.日高管内における就労状況について～浦河ハローワーク:筒井指導官より報告
*障がい者求人は昨年度よりも増加している。障がい者雇用納付金制度の引き下げが関連していると思われる。
- 2.差別解消法・合理的配慮について～日高圏域障がい者相談センターこみっと:中土井コーディネーターより報告
*「虐待=アブユーズ→相手が自分に反抗できない状態で過剰に行う」と「差別=自分からも相手に攻撃できる」の違い。今までの考え方を一回壊してリルーニングする。
- 3.すて～じの支援体制・情報提供について～ *ダイレクトBの取組み状況 *支援状況報告 *情報提供
*福祉的就労から企業就労に向けるために、業務の細分化や中間的就労の取組みが必要である。

■第2回「働くなかまの集い」(9月13日) in 苫小牧

■第3回「働くなかまの集い」(10月18日) in 日高



上記の日程で苫小牧市・日高町で「働くなかまの集い」を開催

しました。今回は「困りごと悩みごとの解決に向けて」をテーマにした意見交換会のあとに、「生きがいくくり～生活の楽しみ～」と題して、札幌☆ドラムサルさんと一緒に参加者が輪になってパーカッションを用いて即興で音楽を作り出し楽しみました。みなさん、初めは緊張してぎこちなかったのですが、だんだんとリズムに合わせて太鼓を叩き、マラカスを振り弾けていました。緊張感が笑顔に変わったひと時でした。



苫小牧市・日高町での様子。
みなさん楽しそうです♪



《西部》

NPO 法人 たつかーむ 〒052-0106 有珠郡壮瞥町字立香 92-12 ☎ 0142-66-3345 FAX 0142-66-3344



私たちは、1987年の創業当初から安全で美味しい平飼有精卵の生産を軸として事業展開しており、2015年には専用の施設を整備して食品加工とカフェを開始しています。

加工部門では、有機豆のレトルトパックや、各種スイーツの生産を拡大し、毎年冬には有機大豆の味噌を仕込んでいます。

カフェ部門は2016年4月、「たまご Cafe」として新規開店を予定し、時間を拡大して土曜日も含めたランチタイムの営業を行います。

就労支援の形態としては、就労移行支援と就労継続支援A型の多機能型で、現在は合計定員20名ですが、地域のニーズに応えるためにも将来的には40名まで増やしていきます。

障がいをもった人たちにとどまらず、ひとり親、引きこもりの若者、刑余者等、社会の中で不利な立場にある人たちの就労の場(社会的事業所)としての取り組みに最善を尽くしていきます。

*写真上段～「たまご Cafe」 *写真下段～有機豆加工風景



《東部》

NPO 法人 紙風船とまこまい 〒053-0053 苫小牧市柳町4丁目12番21号 ☎ (0144)53-6611 FAX 53-6612
ブログ: <http://blog.goo.ne.jp/staff-kamifusen> 「青空と紙風船」で検索♪

紙風船は、「働きたい」「働いてみたい」という思いをもつ方を応援・支援する事業所です。一般企業への就職を目指し、協力して頂いている企業での実習や座学を訓練内容としています。就職することがゴールではなく、働き続けることを支援するため、就職した後も期間の定めなく関わっています。ご本人との関わりは勿論のこと、企業に対しても「何かあった時に連絡」ではなく「特に何も無いよ。最近こうだよ。」等気軽に話し合える関係を作ること、いざと言う時によりスムーズに、また予防的な対応ができるよう心がけています。これらの繋がりを作ること、ひとりでも多くの方々(本人・家族・企業みなさま)が、働くこと・雇用することへチャレンジできるようこれからも取り組み続けていきます。



《日高》

NPO法人木の实福祉会 ワークショップ 陽だまり 〒056-0018 新ひだか町静内吉野町2丁目3-1 ☎ /fax (0146)42-1278



営業時間 10:00~17:00

定休日 月曜日



こんにちは、静内にあります木の实福祉会ワークショップ 陽だまりです。
木の实福祉会は、地域活動支援センター木の实会、就労継続支援B型ワークセンターみのり、しずないサートセンター、就労移行支援陽だまりの事業を行っています。
陽だまりでは、定員6名で、残念ながら現在定員0名です。
みのりを所属でご本人の希望で約5名の方が陽だまりでパン製造・販売を通じて、一般就労に必要な知識及び能力向上の為に日々励んでおります。
また、地域活性化となるよう一般の方、障がいを持った方の憩いの場としてさまざまな、イベントも企画しています。



パンは
40種類!



今後の予定



- ◆2月20日(土) 13:00~16:30 胆振日高障がい者雇用促進研修会
[会場] 登別市総合福祉センターしんた 21 (登別市片倉町6丁目9-1) ☎ 0143-85-0100
参加締切り 2/15(金)
- ◆2月26日(金) 13:30~16:00 第2回胆振日高圏域就労移行支援事業所連絡会議
[会場] 苫小牧市民活動センター (苫小牧市若草町3丁目3-8) ☎ 0144-32-7111
参加締切り 2/19(金)
- ◆3月5日(土) 13:30~16:00 はたらく仲間の集い in 室蘭
[会場] ぴあ 216 1階 機能回復訓練室
[内容] 「働くことと余暇活動」・「太鼓体験 ドラムサークル」など

※2月15日ころ、ご案内予定です。

◆あとかき◆

昨年の春、相棒とともに道南のとある川にサワフス釣りに行った時のこと。雪解けで川が増水し、ウェダーを穿いても私の身長ではダム下までたどり着くことができないとあきらめ、この時間の使い方を考えてみた。

ふと、周りを見渡すと、残雪の合間に新緑が広がり木々に新芽が出始めていることに気が付いた。そして、何気なく続く一本道をダムに向かって歩いてみた。てくてく、てくてく…何を考えるでもなくただひたすら続く道に行く。気が付けば5kmもの道を歩いてた。それからというもの、歩くことに目覚めた私は、独り、時間を見つけては、あちらこちらを歩きまわっている。一度に歩く距離も5kmから10km、15kmと伸び、今は歩くことで「カガ」がリセットできているのだなと感じている。そして小さな達成感を抱き、心地よい疲れを癒しに温泉に浸かり帰路に着く。

今年は数年前に行っていた「山登り」も再開してみようと思い、知人に「山ガール再開!」とメールしてみた。すると、すかさず「山ガールね♪」と返信がきた。そうでした…たしかにこの歳で「ガール」とは少々囃々しかったですね。改めまして、「山ガール再開いたしま〜す!!」



《Kon》